

第 12 回 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨

1. 開催日時 : 令和 6 年 2 月 1 日(木) 10:00~12:00
2. 場 所 : 尾原ダム管理支所(雲南市木次町平田 211-5)
3. 出席委員 : 石飛 厚志 委員長、作野 広和 委員、村尾 富義 委員、宇田川 光好 委員、
糸原 健二 委員、森脇 徹 委員代理、小谷 哲也委員



4. 議事次第
 - 1) 開 会
 - 2) 挨拶 (委員長: 石飛 厚志 雲南市長)
 - 3) 出席者紹介
 - 4) 議 事
 - ① 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正
 - ② 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告
 - ③ 令和 5 年度のプロジェクト実施状況
 - ④ 令和 6 年度の実施プロジェクト(案)
 - ⑤ その他
 - 5) 閉 会
5. 配付資料
 - ・ 資料-1 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正
 - ・ 資料-2 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告
 - ・ 資料-3 令和 5 年度のプロジェクト実施状況状況
 - ・ 資料-4 令和 6 年度の実施プロジェクト(案)
 - ・ 資料-5 手作り郷土賞 受賞

6. 議事要旨

1) 挨拶

- ・ 1月1日に発生した能登半島地震においてたくさんの方が被災されましたことに対して、心よりお悔やみを申し上げたい。
- ・ 国土交通省出雲河川事務所におかれましてはT E C—F O R C Eの派遣をされている大変お忙しい中、この推進委員会を開催されたことに対して、本当に敬意を表したい。
- ・ 今年度は、コロナが5類になったということで、人の動きが活発になり、予定していたほぼ全ての大会、イベント等が通常どおり開催できたと考えている。
- ・ 今年度、6月には国土交通省での水源地域未来会議において、尾原ダムを先進事例として全国にご紹介をいただいたり、さくらおろち湖活性化ネットワーク会議が国土交通省の手づくり故郷賞という大臣表彰を受賞された。
- ・ 今後とも地域の皆様、関係団体、行政がしっかりとスクラムを組んで、この地域の振興、発展が図られるように、皆様方の御協力をよろしくお願い申し上げます。本日はどうぞ活発な議論をお願い申し上げます。



2) 議事

① 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正

- ◆ 規約改正について、事務局提案どおり承認された。

【事務局説明内容】

- ・ 第7条(事務局)の所属名を変更(奥出雲町「まちづくり産業課」から「定住産業課」に変更)

② 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告

- ◆ 事務局より「第11回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会」以降の取組状況について報告があり、承認された。

【事務局説明内容】

- ・ 第11回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨
(規約改正、取組状況報告、当該年度の実施状況、翌年度のプロジェクト紹介ほか)
- ・ さくらおろち湖活性化ネットワーク会議の活動報告・さくらおろち湖周辺看板設置事業検討会 意見交換

③ 令和 5 年度のプロジェクト実施状況

- ◆ 事務局より令和 5 年度のプロジェクト実施状況について説明し、承認された。

【事務局説明内容】

- ・ 今年度は、ほとんどのイベント等が通常開催を再開しつつある。周辺施設への来訪者数も昨年度と同程度の見込み。
- ・ CSR 活動、流域圏連携として遠足ウィーク、志津見ダムとの連携（コスモス祭りでのパネル展等）、尾原ダム見学、情報発信、森林整備・管理（伐採、植樹、七夕の笹竹提供ほか）、ビューポイントの発掘（さくらおろち湖写真コンテスト）、尾原ダムの魅力発掘（クレストゲート点検放流）、さくらおろち湖魅力発見ツーリズム、さくらおろち湖祭りなどの取り組みを紹介。

【委員からの主な意見】

- ・ 資料の 2 ページ 来訪者数がイベント等でまとめてあるが、できれば別々で内訳が分かると思う。もう一つ要望したいのは、アンケートがとれたらいいと思う。
⇒ イベントの内訳を入れたいと思う。イベントにどこから来られたかということ把握するためにアンケート等の実施を検討したいと思う。

④ 令和 6 年度の実施プロジェクト(案)

- ◆ 事務局より令和 6 年度の実施プロジェクト(案)について説明し、承認された。

【事務局説明内容】

- ・ 令和 6 年度のプロジェクト（案） 方針（案）の説明。
- ・ 地域の魅力・資源の発掘・活用 河川空間のオープン化（ダム貯蔵酒等）を進めるとともに、PR大使を募集し、尾原ダムの魅力等について情報発信していきたい。

【委員からの主な意見】

- ・ おろちの里、長者の湯、ボート競技施設は、地域の活性化を今後図ろうとしてできた施設。これらの施設が健全に活動できるような事業をお願いしたい。
- ・ 交流人口、関係人口を増やすことが大切。
- ・ 環境保全活動にしっかり投資すること。

- ・ 2030年 国民スポーツ大会に向けて施設の更新とか自治体を調整しながら進めていきたい。

⑤その他

- ◆事務局より国土交通大臣表彰 手づくり郷土賞について説明を行った。

【事務局説明内容】

- ・ さくらおろち湖活性化ネットワーク会議が、各種イベントやスポーツ大会、その他環境・防災学習など、多岐にわたる取組や創意工夫が評価されて、令和5年度手づくり郷土賞の一般部門として選定された。